

産別・地協代表者と議員懇との意見交換会を開催!

～地域に根ざした連合活動を目指して～

10月11日、ホテルメトロポリタン高崎で産別・地協代表・連合群馬執行部と議員懇との意見交換会を開催し、115名が参加しました。

はじめに、北川会長から「今期は議員懇との連携体制強化のため、県議との意見交換会を増やしてきた。震災以降の大変な時期に統一地方選に取り組んできたことから、議員懇の皆さんと連合活動について語り合う機会としたい」と挨拶がありました。

続いて、議員懇黒沢代表より「私たち連合群馬議員懇の軸足は連合にあり、3.11以降より地域とのつながりが重要視される中、連合と地域を結び付ける大きな役割があると感じている。今日は議会活動報告をさせてもらい、様々な角度から意見交換をさせていただきたい」との挨拶がありました。

議会報告では、①県議会からリベラル群馬の大沢県議と爽風の茂木県議、②市議会から多田伊勢崎市議、高橋高崎市議、石倉太田市議、篠田渋川市議より報告がありました。

その後の意見交換では、①雇用創出を目的とした



議員懇を代表して黒沢県議からあいさつ

雇用対策基金の今後の見通し、②キャリア教育の一環として学生に対する職場体験活動について、③ハツ場ダムの建設に対する考え方、④教育現場のエアコン設置と暑い時期の運動会開催、⑤高崎競馬場跡地の利用と地震に強い群馬県での首都機能のバックアップ機能検討についてなど、各地域の議会情勢と各級議員の考え方について共有しました。

働きがいのある人間らしい仕事を得られる社会の実現に向けて

～ディーセントワーク世界行動デーの取り組み～

10月14日、高崎ハローフォーラムおよび駅周辺でディーセントワーク世界行動デーの取り組みとして、集会とアピールウォークを実施し、産別・地協・議員（後藤県議、角倉県議、林高崎市議）など220名が参加しました。

集会の前段では、産別の協力を得て、高崎駅周辺で仕事帰りの勤労者を中心に世論喚起のチラシを2000枚配布しました。

集会では、主催者を代表して北川会長より「ディーセントワークとは、働きがいのある人間らしい仕事、生活をみんなで送ろうという運動である。世界では、まだまだ労働者の人権が守れていない。日本でも非正規労働者の増加や中小企業など様々な労働条件の違いがある。男女平等や均等待遇の実現に向け、私達が働く仲間と世界的に行動を起こすことで、この運動の渦を大きくしたい」と挨拶がありました。

また、①政策実現に向けて連携する議員の挨拶、②電機連合・日教組・交通労連によるリレーアピールを行い、最後に丸山副会長よりアピール（案）を読み上げ、参加者全体で採択を行いました。

集会後は、駅周辺のメイン通りにおいてアピールウォークを行い、多くの生活者や勤労者などにシュプレヒコールで訴え、世論喚起を行いました。



リレーアピールを行う
電機連合・渡辺氏、日教組・川口氏、交通労連・今澤氏



シュプレヒコールで世論喚起